

グローリー株式会社
2025年3月期 中間期 決算説明資料

【説明者】

- ・代表取締役社長 原田 明浩
- ・経営戦略本部長 田中 千也

本日の内容

2025年3月期 中間期

1 | **決算ダイジェスト**
代表取締役社長 原田 明浩

2 | **決算概要**
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 通期

3 | **連結業績予想**
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 中間期

1

決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

「決算ダイジェスト」

説明者：代表取締役社長 原田 明浩

2025年3月期 中間期 決算ダイジェスト

GLORY

2025年3月期 中間期 連結業績

【売上高】 **1,850 億円** 【営業利益】 **191 億円** (のれん償却前利益 239 億円)

前年同期比 +272 億円 (+17.3%)

前年同期比 +23 億円 (+14.1%)

- 海外市場での販売が増加（海外売上高 前年同期比+168億円）
- 2024年7月3日発行の新紙幣への対応に伴う、製品更新や改造作業が想定より増加
- 売上高は中間期としては過去最高

2025年3月期 通期 連結業績予想

【売上高】 **3,620 億円** 【営業利益】 **300 億円** (のれん償却前利益 388 億円)

前回予想比 +160 億円
前年同期比 ▲104 億円

前回予想比 +35 億円
前年同期比 ▲212 億円

- 通期業績予想は、前回予想（8月6日）から上方修正
- 国内外におけるセルフ化ニーズの継続、海外市場の収益性改善が要因

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

4

「2025年3月期中間期(第2四半期) 連結業績の概要」

・売上高 **1,850 億円**

・営業利益 **191 億円** (のれん償却前営業利益 239 億円)

前年同期比で大幅な増収増益

海外市場では2024年1月に買収したフルイド社の連結会計への取り込みやリテール市場を中心に販売が増加

国内市場では新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が想定より増加

売上高は中間期としては過去最高

(2025年3月期 通期業績予想)

通期の業績予想を上方修正（前回8月6日公表）

上半期の業績結果、及び国内外の小売店舗での業務効率化を目的としたセルフ型製品・サービスへの堅調な需要の継続、米州における保守事業の内製化の進展による収益性の改善を反映

・売上高 **3,620 億円** (前回予想 3,460 億円)

・営業利益 **300 億円** (前回予想 265 億円)

→ 成果

- ① 新紙幣への対応は、想定以上に上振れ ⇒ トピックス 1 (P6)
- ② 海外市場における大口案件獲得 ⇒ トピックス 2 (P7)
- ③ アクレレック社とのシナジー実現 ⇒ トピックス 3 (P8)
- ④ フルイド社の事業戦略実行と案件獲得 ⇒ トピックス 4 (P9-10)

→ 課題対応状況

- ① 米州における子会社間のシステム統合や保守事業内製化の進捗
レボリューション社買収後の米州リテール事業の成長
⇒ トピックス 5 (P11)

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

5

「2025年3月期 中間期(第2四半期) 成果と課題」

(成果)

- ① 新紙幣に関する想定以上の需要に的確に対応した結果、業績を押し上げる
- ② 海外市場では3つの大口案件の獲得
 - ・アメリカ大手リテーラーからの大口受注
 - ・イタリア・シトラーデ社にてイタリアポストから大口案件獲得
 - ・メキシコの大手リテーラーOXXOからの大口受注
- ③ アクレレック社とのシナジーの実現
- ④ フルイド社の事業戦略の実行と大口案件の獲得

(課題)

- ① 米州における子会社間のシステム統合や保守事業内製化が進展しコストが改善

トピックス 1 新紙幣対応による業績影響

2024年3月期売上 500億円	2025年3月期売上 100億円 (うち、上半期90億円)
金融市場 流通・交通市場 遊技市場 ・製品売上：300億円 ・保守売上：200億円	新紙幣発行日 2024年7月3日 流通・交通市場、遊技市場は 2025年3月期も継続対応

新紙幣発行に伴う業績影響

● 上半期までの対応状況

- 流通・交通市場、遊技市場では
改刷対応需要が拡大
- 新紙幣の流通に伴い、中小規模の小売店、飲食店からの更新・改造依頼が増加
- 上半期累計売上高は約 90 億円

● 今後の見通し（通期業績への影響）

- 年度末まで需要は続く見込み
- 下半期業績への影響は軽微

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

6

「トピックス 1：新紙幣対応による業績影響」

（新紙幣対応に伴う業績への影響）

上半期は、流通・交通市場、遊技市場で、新紙幣発行前後に中小規模の小売店や飲食店からの更新・改造需要が増加し、累計で90億円の売上高を計上

（今後の見通し）

新紙幣への対応は今年度末まで続く見込み

上半期で大部分は終了しており、下期業績への影響は軽微

トピックス2 海外大口案件

GLORY

海外大口案件の進捗状況

案 件	対象製品	2026年までの案件規模	今年度の進捗状況		
				上期実績	年間予測
① 米国大手グローバル リテーラーから大口受注	紙幣入出金機 CI-300BX 	5,200台			
			受注(台)	1,600	5,200
			うち納品(台)	1,000	3,000
② イタリアポスト向け 大口商談獲得	窓口用紙幣入出金機 GLR-200 等 	10,000台		上期実績	年間予測
			受注(台)	2,160	2,160
			うち納品(台)	0	200
③ メキシコ大手リテーラー OXXO（オクソ）から 大口受注	フロント向け紙幣硬貨 入出金システム CI-50B+ CI-10CX 	未定 ※オクソの店舗数 2万店以上		上期実績	年間予測
			受注(セット)	2,000	2,300
			うち納品(セット)	1,000	1,600

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

7

「トピックス2：海外大口案件の進捗状況」

①米国大手グローバルリテーラーからの大口受注

案件規模は5,200台、上半期で既に1,000台を納品済み。受注台数については、前回の第2四半期以降も順調に増加。今期中に全数5,200台を受注の見込み

納品先は、買収した旧レボリューション社の大手顧客。シナジーを発揮し老朽化に伴い故障頻度が高かった旧レボリューション製品からグローリー製品への置き換えが進む。売上高の向上はもとより、生産による利益向上も図られ、更に保守サービスの改善や故障などのトラブル発生時の通報率低下につながり、米州における保守事業のコスト削減に寄与

②イタリアポストから大口案件獲得

案件規模は、2026年までに1万台の納入予定。今年度は初期の2,160台を正式受注。下期からの導入に向け、現在ソフトウェアの接続テストなどの準備を進める

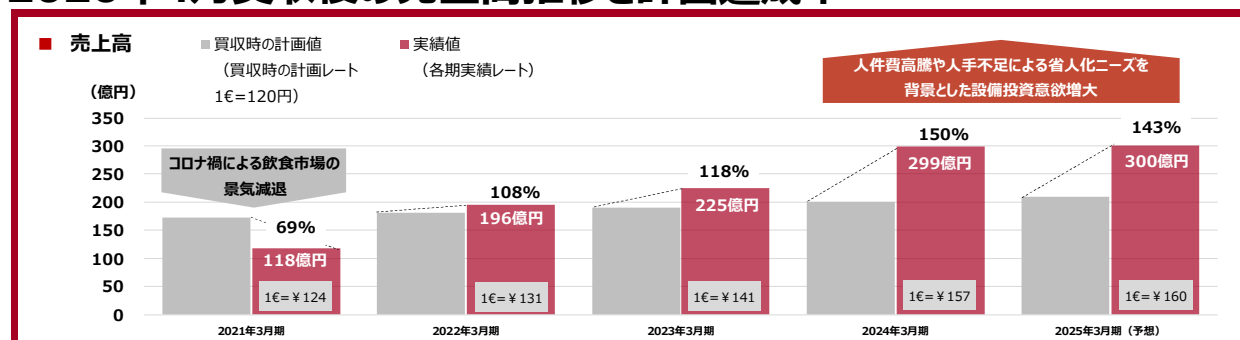
日本の郵便局に当たるイタリアポストでは、金融機関の店舗閉鎖が続いている状況に対し、金融包摂の観点から、郵便各局を生かしてイタリア全土で金融サービスに対応する方針を打ち出し、郵便局に窓口用入出金機の新規導入を決定。当社販売子会社のシトラード社が受注

③メキシコの手リテーラーOXXOから大口受注

メキシコ全土でコンビニエンスストア事業を展開するFEMSA社より、店頭で金融サービスを提供する際の現金管理ソリューションとして、当社製品を採用。今期中に1,600セットを納品する計画
銀行口座やクレジットカードを持たない人、金融機関やATMの不足により金融サービスを受けられない人にも金融サービスを提供する、金融包摂の実現に取り組む

トピックス3 アクレック社の業績

2020年4月買収後の売上高推移と計画達成率



× ACRELEC 共同開発した製品を発売

通貨処理機付きキオスク<C27> 2024年8月発売

- ✓ 現金決済対応：クレジットカードを持たない来店客へのカウンター対応が不要
⇒ 人手不足の飲食市場において、オーダーから決済までのフルセルフ運用を実現
- ✓ コンパクト設計：イートインスペースを確保したまま、複数台の設置が可能
⇒ 来店客の回転率を重視する顧客のニーズに対応

対応決済手段

- ・現金
- ・クレジットカード
- ・スマートフォン
- ・QRコード
- ・飲食店毎のポイント決済



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

8

「トピックス3：アクレック社の業績」

アクレック社は、ハンバーガーショップなど、ファストフード店などの飲食店舗向けに、キオスク注文端末やドライブスルー、その他関連システムを開発し世界中で販売している企業。当社グループにおける非現金事業の柱として成長を担う。また、当社の貨幣処理製品とのコンビネーション販売によるシナジーを期待

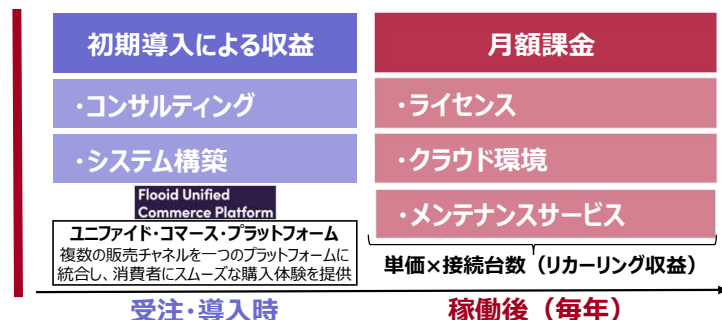
グラフの通り2020年に買収した直後は、コロナ禍による飲食店の休業などもあり一時的な落ち込みが見られ、年間売上高は118億円程度。2024年3月期以降は、世界的な人件費高騰や人手不足を背景とした飲食店の省人化ニーズを受け、順調に業績を伸ばし、昨年度売上高は299億円まで拡大。今期売上高は300億円を見込んでおり、北米を中心にこれまで取引実績のなかったお客様からも受注するなど、確実にシェアを拡大

2024年8月には、グローリーと共同開発をした「通貨処理機付きセルフサービスキオスクC27」を発売
奥行きが約30センチと非常に薄型の製品（右下画像参照）

注文処理はもとより、決済手段についても、現金、クレジットカード、スマートフォン、QRコード、飲食店舗ごとのポイント決済など、あらゆる決済手段に対応でき、フルセルフでの運用が可能。さらに、他社製品に比べて設置面積を半分に抑えるなど、効率的な店舗運営にも貢献

トピックス4 フライド社の事業戦略

【UCP販売による収益構造】



【新規受注・契約更新件数】

	2024年度上期実績	5件以上
	2024年度下期予想	5件以上
	2025年度予想	10件以上

【注力業種】



【注力地域】

	2024年度の事例
イギリス アメリカ カナダ 南アフリカ	イギリスを中心に1,500店舗以上を展開する大手書店チェーンから受注

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

9

「フライド社の事業戦略」

フライド社は2024年1月に買収したイギリスの企業

リテール店舗など、生活必需品を扱う大手小売業向けにクラウド型のPOSシステムを開発・販売

現金に頼る貨幣処理機器のビジネスだけではなく、非現金の新事業として事業領域を広げ、さらに現金処理機事業とのシナジーを狙い買収

（UCP販売による収益構造）

フライド社の収入は、まず導入までのコンサルティングや、システム構築にかかる初期収益と、稼働後にUCPに接続したレジ台数に応じて得られる、月額課金のリカーリング収益

（注力業種）

売上高の約65%が当社貨幣処理事業の業種と同じ、食料品や日用品、ガソリンスタンドなど、生活必需品を扱う小売チェーン。当社のコア事業である貨幣処理機と、このクラウドPOSシステムを併せて販売することにより、これまでの貨幣処理機単体の販売だけでなく、店舗丸ごとのソリューションビジネスの展開が可能

（新規受注・契約更新件数）

2024年度上期では5件以上の新規受注や契約の更新を獲得。下期また来期におきましても同程度以上の受注を見込む。フライド社のシステムは、リテール店舗の根幹を成す基幹システムとなる為、契約更新時にも他社へ切り替えられるケースはごくわずか。一度契約すると、長期的かつ安定的にリカーリング収益を上げられるのが同社の強み

（注力地域）

イギリス、アメリカ、カナダ、南アフリカ。2024年の上期には、イギリスで書籍や文具を幅広く取り扱う大手有名書店チェーンからもシステムを受注

トピックス4 フルイド社の事業戦略

GLORY

フルイド社のUCPの強み



UCP 単一のプラットフォームによるシステム運用

クラウドネイティブの 高品質なサービス提供



- オートスケーリング※による安定稼働とコスト最適化
- オンラインによるタイムリーなメンテナンスが可能

標準機能の販売により 顧客専用システム開発不要



- 幅広い業種・業態に展開可能
- スピーディーで負担が少ないシステム導入を実現

顧客が導入済みの機器を そのまま活用



- 機器メーカーを選ばない汎用性の高さ
- 顧客にとっては低コストでの初期導入が可能

※クラウドコンピューティングの機能のひとつで、サービスの負荷に応じてシステムが自動的にリソースの拡張・縮小を行うこと。品質を維持しながらコストを抑えることができる。

顧客、フルイド社の双方に多くのメリットがあり、今後の成長が期待できる

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

10

「フルイド社 UCPの3つの強み」

①クラウドネイティブの高品質なソリューション

処理件数の増減に応じてシステムが自動的にリソースの拡張・縮小を行うオートスケーリングと呼ばれる機能により、レジが混雑する時間帯でも安定稼働するとともにコストを抑制。また、システムのメンテナンスをオンラインで行い必要な時に迅速に対応する事が可能

②標準機能での販売により、顧客毎の細かな専用システムの開発が不要

小売業は、店舗販売だけでなく、インターネット販売のほか、ポイントカード、紙のクーポン、インターネットで発行されるクーポンなど様々な販売ルート、販売促進アイテムを持っており、それら個々の管理に追われています。こういった販路ごとの決済や販促アイテムを標準機能で一元管理できるのが、UCPの強み。これにより一般的なスーパーマーケットや量販店のほか、アパレル、百貨店、専門店などにも導入可能な仕様となり、膨大な工数がかかる専用システムの開発を省略する事によりスピーディーな導入を実現

③顧客が既に導入済みの決済端末が使用可能

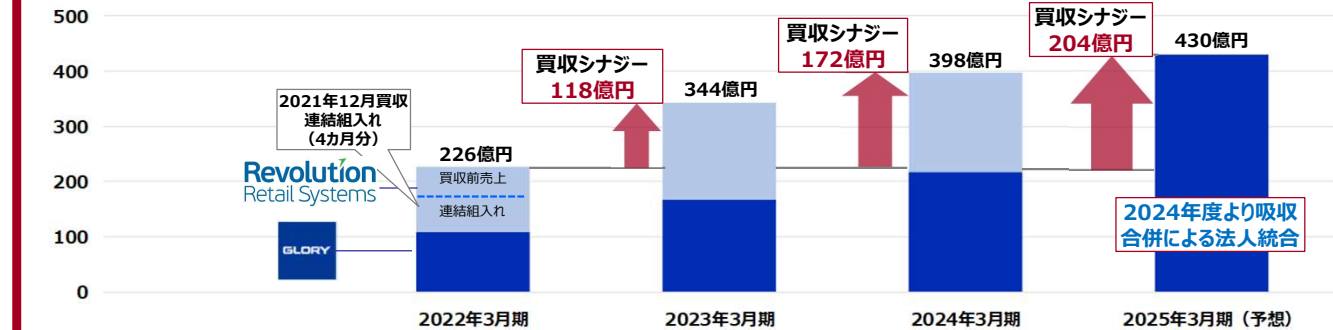
システム導入と同時にハードウェアを入れ替えると、顧客にとって莫大なコストが発生しますが、UCPは、ほとんどのハードウェアと接続が可能であるため、既存の店舗資産を活用した新たな決済ソリューションの構築を低コストで行う事が可能

UCPは低コストで迅速かつ柔軟に導入できる点を特長としており、顧客、フルイド社双方にとって多くのメリットがあるソリューション。今後も市場の拡大が期待できるソフトウェアビジネスとして、海外のリテール市場をけん引することを期待

トピックス5 レボリューション社買収効果

買収後、米州リテール市場の事業が拡大

(億円) 米州リテール市場売上高推移 (フルイド社を除く)



事業統合・効率化に向けた取り組み事項	評価	状況
レボリューション社の顧客へグローリー製品を販売	○	アメリカ大手グローバルリテラーへ、グローリー製品の納入が進む (2024年度上期 1,000台納入)
レボリューション社が外部委託している保守業務をGGSに取り込み内製化	○	新たに納入したグローリー製品は保守を内製化し、委託コスト削減
両社の保守システムの連携	○	両社システム連携完了し、更なる改善作業継続中

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

11

「トピックス5：レボリューション社買収の効果」

レボリューション社は、米州のリテール市場における貨幣処理機の競合先。優良な大口顧客を抱えているという大きな魅力を持つ。米州のリテール事業の成長を狙い2021年4月に買収

棒グラフは、米州のリテール市場における売上高の推移

買収直後の2022年3月期売上高は、グローリーが約100億円強、レボリューション社も100億円強、合計226億円という実績。その後、両社の顧客網や営業リソースを共有することで、大口商談などを次々と獲得。今年度の予想は、北米リテール市場で買収時の約2倍近い430億円の売上高を見込む

また、当年4月には、GGSのアメリカ法人とレボリューションの法人統合。

販売戦略としてレボリューション社の独自製品をグローリー製品へ切り替え利益率の高い自社製品の販売の拡大と、保守の内製化を促進し、さらなる事業成長と利益の拡大を見込む

その一例が、トピックス2で説明したアメリカの大手リテラーへの案件。グローリー製品の納入が進行し上期で1,000台、下期にはさらに2,000台という納品を予定

また、製品の納入と並行して、レボリューション社が外部委託している保守業務の内製化を促進。委託コストを削減し利益率の向上を図る

懸念事項となっていた両社のシステムの連携についても作業を進め、保守利益も順調に回復。下期からの収益回復が成果として目に見えてきている

2025年3月期 中間期

2

決算概要

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2025年3月期 中間期の決算概要」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 中間期 実績 損益計算書

GLORY

売上高

新紙幣対応、及び海外リテール市場向けソリューション等の販売増加

利益

増収により営業利益は大幅に増加したものの、利払いや為替差損等が発生し経常利益・純利益は減少

億円	中間期				前年同期比	期初予想進捗率	
	2024年3月期	売上高比率	2025年3月期	売上高比率		上半期	年間
売上高	1,578	100.0%	1,850	100.0%	+272 +17.2%	115.6%	56.1%
保守売上高	633	40.1%	685	37.0%	+52 +8.2%	131.7%	67.2%
営業利益	167	10.6%	191	10.3%	+24 +14.4%	173.6%	86.8%
経常利益	154	9.8%	143	7.7%	-11 -7.1%	150.5%	75.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	83	5.3%	73	3.9%	-10 -12.0%	146.0%	73.0%
EBITDA	266	16.9%	309	16.7%	+43 +16.2%	141.1%	70.5%
為替 レート	ドル	141 円	153 円				
	ユーロ	153 円	166 円				

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

13

「2025年3月期 中間期実績：損益計算書」

当年度中間期は、前年同期比で大幅な増収となり、中間期としては過去最高の売上高

・売上高 1,850億円（前年同期比+272億円）

・営業利益 191億円（前年同期比+24億円）

・経常利益 143億円（前年同期比-11億円）

・親会社株主に帰属する中間純利益、73億円（前期比-10億円）

（売上高）

国内の新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業、海外リテール市場向けソリューションの販売増加等により、前年同期比+17.2%

（営業利益）

増収や価格改定等により、増益となりましたが、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益については、利払いや為替差損の発生等により減益

2025年3月期 中間期 実績 営業利益 増減要因

GLORY

単位: 億円

● 売上高増加の効果

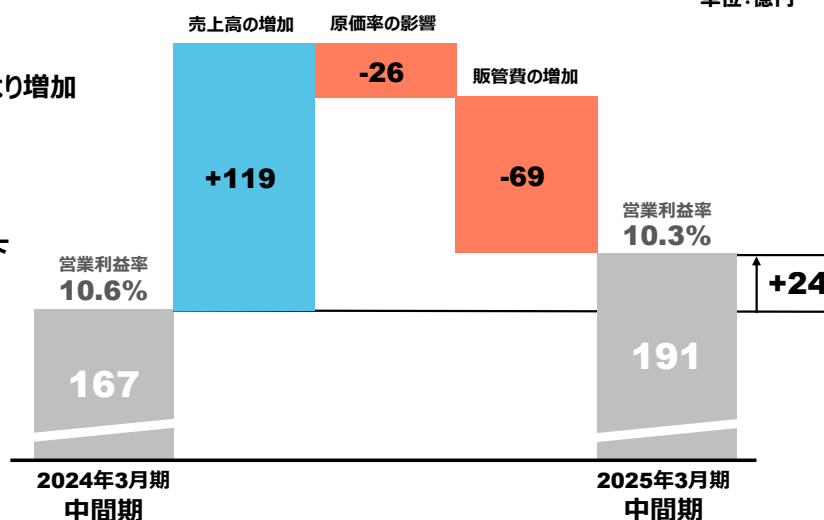
- ・新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業により増加
- ・海外リテール市場での販売増加

● 原価率上昇の影響

- ・新紙幣対応に伴う増産が一巡し稼働率低下

● 販管費増加の影響

- ・海外関係会社のコスト増加



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

14

「営業利益の増減要因」

(増益要因)

・売上高の増加による効果 **119億円**

(減益要因)

・在庫削減による原価率上昇の影響 **26億円**

・販管費の増加 **69億円**

販管費増加の主な要因：人件費の増加に加え、円安影響により海外のコストが増加

・営業利益 **191億円**（前年同期比 + 24億円）

2025年3月期 中間期 実績 セグメント別売上高・営業利益

GLORY

億円	売上高					営業利益				
	中間期		前年同期比	期初予想進捗率		中間期		前年同期比	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期		上半期	年間	2024年3月期	2025年3月期		上半期	年間
海外市場	799	968	+169 +21.2 %	114%	50%	5	1	-4 -80.0 %	7%	1%
金融市場	300	269	-31 -10.3 %	105%	54%	83	51	-32 -38.6 %	146%	102%
流通・交通市場	314	416	+102 +32.5 %	128%	74%	35	87	+52 +148.6 %	348%	348%
遊技市場	136	163	+27 +19.9 %	121%	65%	46	54	+8 +17.4 %	135%	83%
その他	26	33	+7 +26.9 %	94%	47%	-2	-2	0 - %	-	-
合計	1,578	1,850	+272 +17.2 %	116%	56%	167	191	+24 +14.4 %	174%	87%

海外

米州リテール市場、欧州金融市場の好調を背景に増収も、米州での一時的なコスト増により減益

国内

金融市場を除き増収増益、新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が想定より増加

のれん償却

中間期ののれん償却額48億円 → 【のれん償却前営業利益】 海外市場：49億円 連結合計：239億円

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

15

「セグメント別の売上高・営業利益」

（海外市場）

金融市場及びリテール市場ともに、人件費高騰や人手不足対応に伴うセルフ化ニーズが継続しており、製品・サービスの販売は順調

営業利益は、米州において、人件費や外部委託手数料などのコストが一時的に増加したため前年同期比で減益だが、保守事業の内製化等のコスト削減を継続しており、第2四半期以降は改善

（国内市場）

金融市場では、製品売上が増加した一方で新紙幣対応に伴う改造作業の一巡により保守売上高が減少

流通・交通市場、遊技市場では、新紙幣対応が継続し、製品売上高、保守売上高ともに増加

海外市場

GLORY

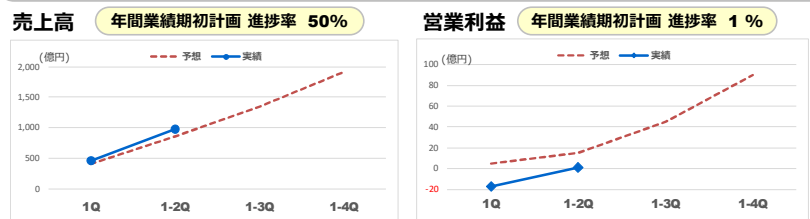
億円	中間期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	799	968	+169 +21.2 %
売上高 構成比率	51%	52%	+1 pt
営業利益	5	1	-4 -80.0 %
営業利益率	0.6 %	0.1 %	-0.5 pt

製品以外	製品	営業利益
2	15	46
209	246	341
200	219	244
225	232	237
273	273	273
2Q	3Q	4Q
2024年3月期	2025年3月期	

業績のポイント

- ・実績 各地域における需要拡大を受けて、増収
- 【売上高】・要因 リテール市場向け製品の販売好調により前年を上回る進捗
- ・対策 引き続き、大口商談を中心に販売拡大を目指す
- ・実績 米国での人件費を中心に販管費が一時的に増加し、減益
- 【営業利益】・要因 保守の外注費負担が重し
- ・対策 システム統合の加速とリソース最適化により改善を図る

計画に対する進捗



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

16

「海外市場」

- ・売上高 968億円（前年同期比+169億円）
- ・営業利益 1億円（前期年同比-4億円）

（売上高）

リテール市場のバックオフィス向け「CI シリーズ」の販売は、セルフ化ニーズが継続し好調
RBGやGLRを始めとする金融市場向け「TCR」については、商談の延伸により低調
また、保守売上の増加や円安に加え、アクレック社の売上増加、フルイド社の連結会計の組入れ等により増収

（営業利益）

人件費を中心に販管費が増加し減益
米州リテール事業において、保守の内製化が進展しており下期にかけて利益が改善する見込み

地域別売上高 全体

GLORY

億円	中間期		前年同期比			期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期			米ドルベース	上半期	年間
米州	379	444	+65	+17.2%	+8.2%	111%	47%
内 GGS	358	395	+37	+10.3%	+1.6%	115%	47%
内 Acrelec	20	22	+2	+10.0%	+2.1%	79%	39%
内 Flooid	-	27	-	-	-	96%	47%
欧州	346	434	+88	+25.4%	+16.0%	114%	54%
内 GGS	180	221	+41	+22.8%	+13.5%	127%	56%
内 Sitrade	67	80	+13	+19.4%	+9.2%	105%	51%
内 Acrelec	99	111	+12	+12.1%	+3.7%	109%	54%
内 Flooid	-	22	-	-	-	81%	42%
アジア	74	88	+14	+18.9%	+10.9%	126%	55%
内 GGS	67	71	+4	+6.0%	-1.1%	118%	51%
内 Acrelec	7	17	+10	+142.9%	+124.3%	170%	85%
合計	799	968	+169	+21.2%	+11.9%	114%	50%
内 GGS	606	687	+81	+13.4%	+4.8%	119%	50%
内 Sitrade	67	80	+13	+19.4%	+9.2%	104%	51%
内 Acrelec	126	151	+25	+19.8%	+10.2%	108%	54%
内 Flooid	-	50	-	-	-	91%	45%

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

17

「海外地域別、会社別売上高」

各地域、各社ともに、円ベースにおいて、前年同期を上回る結果
為替影響を除いた、ドルベースで見た場合においてもGGSのアジア地域以外は、前年同期を上回る

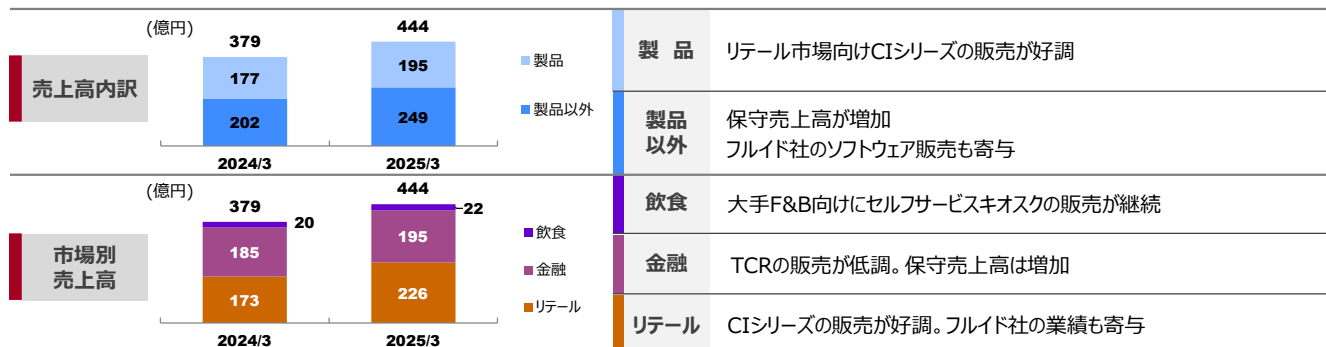
地域別売上高 米州

GLORY

億円	中間期		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期			上半期	年間
米州	379	444	+65 +17.2 %	+8.2%	111%	47%
内 GGS	358	395	+37 +10.3 %	+1.6%	115%	47%
内 Acrelec	20	22	+2 +10.0 %	+2.1%	79%	39%
内 Flooid	-	27	- - %	-	96%	47%

市場動向・TOPICS

- GGS Inc.と旧Revolution社との事業統合活動を推進
- 旧Revolution顧客の大手リテラーとの大口商談が順調に進捗



ダイジェスト	連結業績の概要	2025年3月期 業績予想	参考資料	18
--------	---------	---------------	------	----

「海外 地域別売上高：米州」

（トピックス）

GGG Inc.と旧Revolution社との事業統合を推進しており、シナジーの一つとして旧Revolution顧客の大手リテラーとの大口商談によるRevolution製品から当社製品への置き換えが順調に進捗

（製品売上高）

製品売上高は、リテール市場のバックオフィス向け「CIシリーズ」の販売が好調
保守売上高は、リテール市場での売上高が増加

（市場別売上高）

金融市場向け製品及び飲食市場を担うアクレック社のセルフサービスキオスクの販売は前年同期並み
リテール市場ではフロント向け製品の販売は前年同期並みだが、保守売上高の増加やフルイド社の連結会計組入れ等により増収

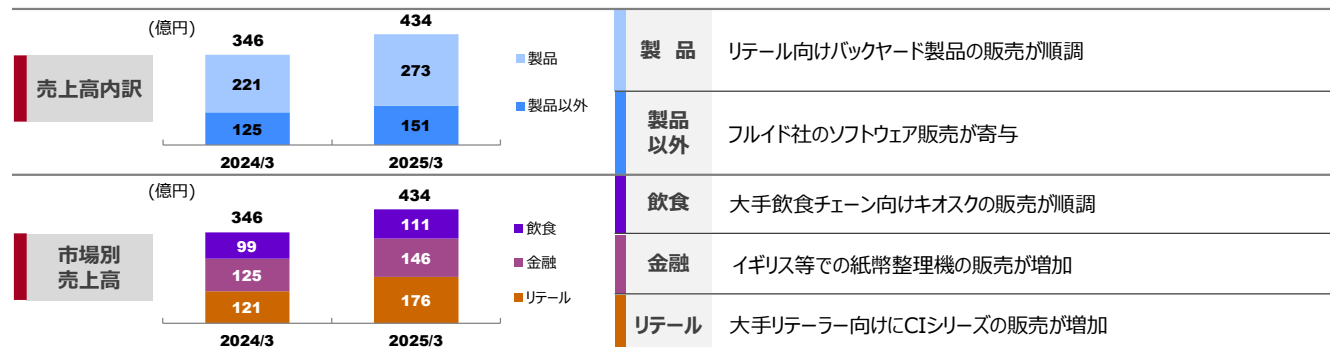
地域別売上高 欧州

GLORY

億円	中間期		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期			上半期	年間
欧州	346	434	+88 +25.4 %	+16.0%	114%	54%
内 GGS	180	221	+41 +22.8 %	+13.5%	127%	56%
内 Sittrade	67	80	+13 +19.4 %	+9.2%	105%	51%
内 Acrelec	99	111	+12 +12.1 %	+3.7%	109%	54%
内 Floid	-	22	- - %	-	81%	42%

市場動向・TOPICS

- ・ イタリアで金融機関向け大口案件を獲得
- ・ フランス、スペイン、ドイツでリテール向け製品の販売が好調
- ・ イギリス、トルコで金融市場向け製品の販売が好調



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

19

「海外 地域別売上高：欧州」

（製品売上高・市場別売上高）

すべての市場において、販売が順調に推移したほか、製品以外でも、保守売上やフルイド社のソフトウェア売上により増収

地域別売上高 アジア

GLORY

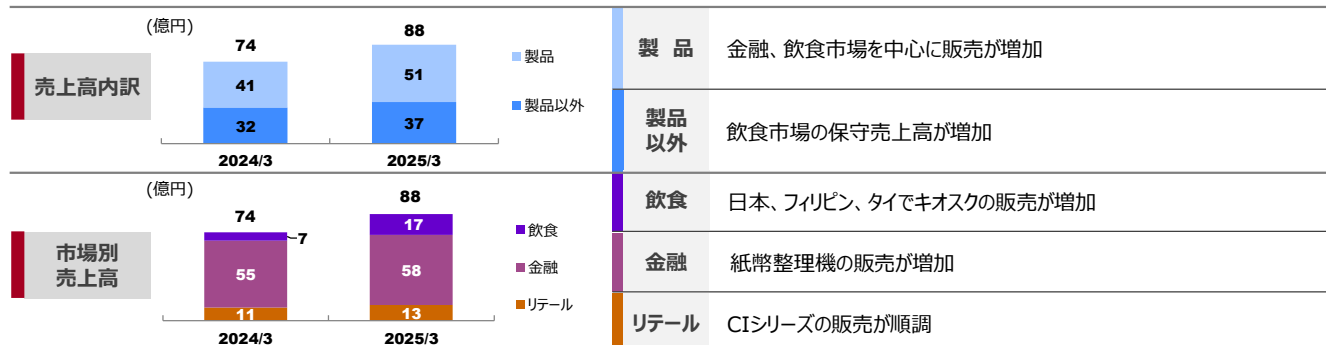
億円	中間期		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期			上半期	年間
アジア	74	88	+14 +18.9 %	+10.9%	126%	55%
内 GGS	67	71	+4 +6.0 %	-1.1%	118%	51%
内 Acrelec	7	17	+10 +142.9 %	+124.3%	170%	85%

市場動向・TOPICS

- ・ 香港、インドで紙幣整理機の販売が好調
- ・ 人手不足ニーズを背景に、セルフサービスキオスクの販売が好調

※Acrelec社の日本国内での売上を含む

※中国において、製造子会社の光栄電子工業（蘇州）有限公司が、販売子会社のGlory Global Solutions (Shanghai) Co.,Ltd.（中分表記：光栄国際貿易（上海）有限公司）を吸収合併する方向で手続きを進めております。



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

20

「海外 地域別売上高：アジア」

（製品売上高）

飲食、金融市場を中心に販売が増加し、製品以外でも金融市場、飲食市場の保守売上高が増え増収

（市場別売上高）

飲食市場ではアクレレック社のKIOSKの販売が増加した他、リテール市場向け「CIシリーズ」の販売が好調

金融市場では紙幣整理機の販売が順調

アクレック社およびフルイド社の売上高

GLORY



億円	中間期		前年同期比	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期		上半期	年間
売上高	126	151	+25	108%	54%
米州	20	22	+2	79%	39%
欧州	99	111	+12	109%	54%
アジア	7	17	+10	170%	85%
営業利益	2	4	+2		
のれん償却前					
のれん償却後	-1	0	+1		

米州

大手F&Bグループへの販売が順調

欧州

ドイツ、イギリス向けの販売は好調

アジア

日本、フィリピン、タイ等でキオスクの販売が増加



億円	中間期		前年同期比	期初予想進捗率	
	2024年3月期	2025年3月期		上半期	年間
売上高		50	-	91%	45%
米州	-	27	-	96%	47%
欧州	-	22	-	81%	42%
営業利益	-	7	-		
のれん償却前					
のれん償却後	-	-5	-		

米州

欧州

新規顧客との商談は順調に進捗
SaaS契約を中心に堅調な販売実績

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

21

「アクレック社、フルイド社の業績」

(アクレック社)

・売上高 151億円 (前年同期比 + 25億円)

欧州・アジアのファストフードチェーンにおける販売は好調

米州：米国でセルフサービスKIOSKの販売が順調に推移。大手F&B（フード・アンド・ビバレッジ）向けの大
口商談も活発化

欧州：主要国であるドイツ、イギリスのファストフードチェーン等への販売が好調

アジア：日本、フィリピン、タイなどの大手ファストフードチェーン向けにセルフサービスキオスクの販売が進む

(フルイド社)

・売上高 50億円

欧米で新規商談が順調に進んでおり、注力市場である北米と英国を中心に、SaaSの導入を推進するとともに
に利益率向上にも取り組む

金融市場

GLORY

億円	中間期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	300	269	-31 -10.3 %
売上高 構成比率	19%	15%	-4 pt
営業利益	83	51	-32 -38.6 %
営業利益率	27.7 %	19.0 %	-8.7 pt

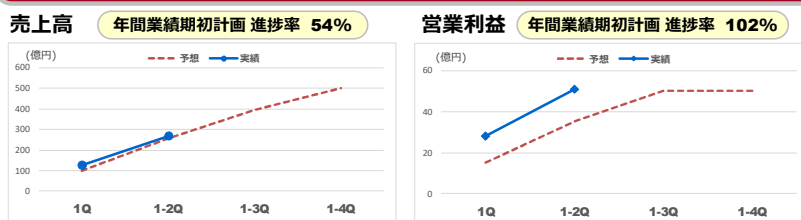
製品以外 (紫) 製品 (白) 営業利益 (青)

期間	製品以外	製品	営業利益
2024年3月期	118	86	70
2024年4月期	158	97	106
2024年5月期	154	73	51
2025年1月期	84	43	28
2025年2月期	109	31	22

業績のポイント

- ・実績 主要製品WAVEの販売は順調に推移したが、保守売上が減少
- 【売上高】・要因 大口案件の販売が計画通り進捗
- ・対策 大口案件の確実な販売、及びセルフ化ソリューションの販売拡大
- ・実績 新紙幣発行関連の売上高減少により減益
- 【営業利益】・要因 新紙幣発行関連の保守売上高の減少
- ・対策 主要製品の確実な販売、及びセルフ化ソリューションの販売拡大

計画に対する進捗



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

22

「金融市場」

・売上高 269億円（前年同期比－31億円）

・営業利益 51億円（前年同期比－32億円）

（売上高）

郵政・JA向けの大型案件が順調に推移し、主要製品である「オープン出納システム」の売上は前年同期比プラス30.5%、「窓口用紙幣硬貨入出金機」においても前年同期比プラス3.8%で推移
保守売上は減少

（営業利益）

主要製品の販売が増加したが、新紙幣発行に伴う改造作業が一巡し保守売上高が減少した影響により減益

引き続き、大口受注の着実な納品、及びセルフ化ソリューションの販売拡大を推進

流通・交通市場

GLORY

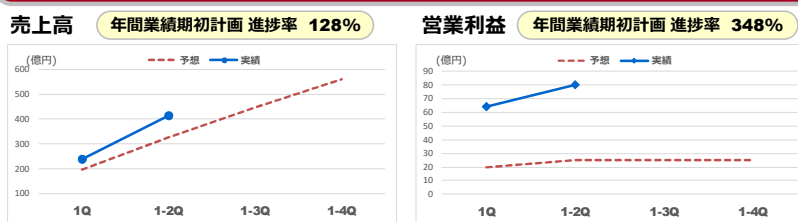
億円	中間期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	314	416	+102 +32.5 %
売上高 構成比率	20%	22%	+2 pt
営業利益	35	87	+52 +148.6 %
営業利益率	11.1 %	20.9 %	+9.8 pt

このグラフは、2024年3月期と2025年3月期の売上高と営業利益の構成比率を示しています。売上高は製品以外（オレンジ）と製品（黄色）に分かれ、営業利益は製品（黄色）と営業利益（青）に分かれています。2024年3月期の売上高は28億円で、製品以外が129億、製品が50億です。2025年3月期の売上高は416億円で、製品以外が146億、製品が59億です。営業利益は2024年3月期が34億、2025年3月期が87億です。

業績のポイント

- ・実績 新紙幣関連の需要拡大により増収
- 【売上高】・要因 新紙幣関連の更新・改造需要が想定以上に高まる
- ・対策 新紙幣発行関連の確実な対応とセルフ化需要の獲得
- ・実績 新紙幣関連、及び主要製品の売上高増加により増益
- 【営業利益】・要因 利益率の高い新紙幣関連、及び主要製品の販売増加
- ・対策 新紙幣発行関連の確実な対応とセルフ化需要の獲得

計画に対する進捗



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

23

「流通・交通市場」

- ・売上高 416億円（前年同期比+102億円）
- ・営業利益 87億円（前年同期比+52億円）

（売上高）

新紙幣関連の需要拡大により、主要製品である「レジつり銭機」の売上は、前年同期比+8.9%、警備輸送会社向け「売上金入金機」も、前年同期比+3.7%と堅調
新紙幣発行に伴う改造作業も継続しており、保守売上高も増加

（営業利益）

製品売上及び保守売上の増加等により増益

下期も的確な顧客対応により、需要の獲得に努める

遊技市場

GLORY

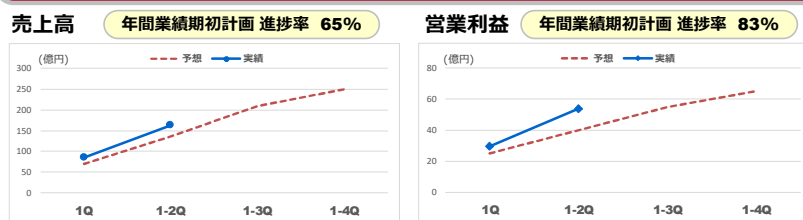
億円	中間期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	136	163	+27 +19.9 %
売上高 構成比率	8%	9%	+1 pt
営業利益	46	54	+8 +17.4 %
営業利益率	33.8 %	33.1 %	-0.7 pt

期間	製品以外	製品	営業利益
2024年2Q	25	61	7
2024年3Q	28	67	8
2024年4Q	25	51	18
2025年1Q	30	67	18
2025年2Q	23	69	8

業績のポイント

- ・実績 新紙幣対応に伴う保守売上増加や周辺機器の販売増により増収
- 【売上高】・要因 新紙幣関連需要への着実な対応
- ・対策 新紙幣対応の継続、スマート遊技機関連の需要注視
- ・実績 保守売上高の増加により増益
- 【営業利益】・要因 利益率の高い製品・保守売上高の増加
- ・対策 スマート遊技機関連製品の利益率の維持向上を図る

計画に対する進捗



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

24

「遊技市場」

・売上高 163億円（前年同期比+27億円）

・営業利益 54億円（前年同期比+8億円）

（売上高）

主要製品である「カードシステム」は、スマート遊技機向けカードユニットの販売は前年同期並みの高水準を維持しており、新紙幣対応に伴う保守売上高や周辺機器の販売も増加

（営業利益）

売上高増加により増益

下期も新紙幣対応の継続と共に、スマート遊技機関連の需要を注視し、利益率の維持向上を図る

2025年3月期 通期

3

連結業績予想

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2025年3月期 連結業績の予想」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 事業環境の想定

GLORY

海外市場

米州

大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移

欧州

大手リテーラーでバックオフィス向け製品への更新需要が継続

アジア

金融機関の設備投資はやや低調

金融市場

少人数店舗運営をサポートする製品・サービスへの需要が根強い

流通・交通市場

新紙幣関連の需要は年末までに収束

小売・飲食店での人手不足が顕著で、セルフ型製品への需要は堅調に推移

遊技市場

新紙幣関連の需要は年末までに収束

スマート遊技機関連製品への需要は継続

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

26

「当社を取り巻く事業環境」

（海外市場）

大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移すると見込む

（国内市場）

金融市場では、金融機関の少人数店舗運営をサポートする製品・サービスに対する需要は根強い

流通・交通市場では、新紙幣関連の需要はほぼ終息したと認識。小売店・飲食店での人手不足に対応するためのセルフ化対応製品への需要は堅調に推移すると見込む

遊技市場では、スマート遊技機関連製品の需要は高い水準で続くを見込み。スマートパチンコの普及については、今後発売される新台の動向を注視

2025年3月期 通期 業績予想

GLORY

売上高

海外リテール市場向けの販売増加を予想

業績予想値

上段：2024年 8月 6日予想
下段：2024年11月 7日予想

利益

新紙幣関連の需要収束により減益を予想

億円	通 期				前年同期比
	2024年3月期	売上高 比率	2025年3月期予想	売上高 比率	
売上高	3,724	100.0%	3,460 3,620	100.0%	-104 -2.8%
保守売上高	1,406	37.8%	1,260 1,310	36.2%	-96 -6.8%
営業利益	512	13.7%	265 300	8.3%	-212 -41.4%
経常利益	484	13.0%	225 240	6.6%	-244 -50.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	296	7.9%	115 130	3.6%	-166 -56.1%
EBITDA	722	19.4%	481 527	14.6%	-195 -27.0%
為替 レート	ドル ユーロ		145 円 157 円	140 円 ⇒ 150 円 ⇒	145 円 160 円

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

27

「2025年3月期 通期業績予想」

今年度中間期の業績結果、及び市場動向、為替の影響を踏まえ第1四半期決算発表時に公表した予想を上方修正

- ・売上高 3,460億円 → **3,620億円**（前回予想比+160億円）
- ・営業利益 265億円 → **300億円**（前回予想比 +35億円）
- ・経常利益 225億円 → **240億円**（前回予想比 +15億円）
- ・親会社株主に帰属する当期純利益 115億円 → **130億円**（前回予想比+15億円）

（想定為替レート：第3四半期以降）

- ・ドル 140円 → 145円
- ・ユーロ 150円 → 160円

2025年3月期 通期 業績予想 セグメント別売上高・営業利益

GLORY

億円	売上高			営業利益		
	通 期		前年同期比	通 期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期予想		2024年3月期	2025年3月期予想	
海外市場	1,852	1,950 2,070	+218 +11.8 %	66	60 80	+14 +21.2 %
金融市場	784	505 520	-264 -33.7 %	241	60 62	-179 -74.3 %
流通・交通市場	747	670 685	-62 -8.3 %	105	80 88	-17 -16.2 %
遊技市場	282	265 280	-2 -0.7 %	100	70 75	-25 -25.0 %
その他	58	70 65	+12 +20.7 %	-1	-5 -5	-4 - %
合 計	3,724	3,460 3,620	-104 -2.8 %	512	265 300	-212 -41.4 %

海外市場 金融、リテール、飲食の各市場での大型案件の獲得などにより増収を見込む

業績予想値 上段：2024年 8月 6日予想
下段：2024年11月 7日予想

金融市場 大口商談の獲得により、新紙幣発行に伴う販売の反動減を補完

流通・交通市場 新紙幣発行に関する需要への対応、及びセルフ型製品の販売が拡大する見込み

遊技市場 スマート遊技機向けカードシステムの需要が継続

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

28

「セグメント別業績予想」

（海外市場）

- ・売上高は1,950億円から**2,070億円**
- ・営業利益は60億円から**80億円**

（金融市場）

- ・売上高は505億円から**520億円**
- ・営業利益は60億円から**62億円**

（流通・交通市場）

- ・売上高は670億円から**685億円**
- ・営業利益は80億円から**88億円**

（遊技市場）

- ・売上高は265億円から**280億円**
- ・営業利益は70億円から**75億円**

2025年3月期 通期 業績予想 海外地域別売上高

GLORY



億円	通 期		前年同期比		米ドルベース
	2024年3月期	2025年3月期予想			
米州	894	970 ⇒ 1,000	+106	+11.9%	+11.5%
内 GGS	834	857 ⇒ 893	+59	+7.1%	+6.7%
内 Acrelec	49	56 ⇒ 45	-4	-8.2%	-9.0%
内 Flooid	10	57 ⇒ 62	+52	+520.0%	+508.1%
欧州	794	830 ⇒ 885	+91	+11.5%	+11.1%
内 GGS	411	416 ⇒ 444	+33	+8.0%	+6.9%
内 Sitrade	141	156 ⇒ 163	+22	+15.6%	+18.0%
内 Acrelec	233	205 ⇒ 220	-13	-5.6%	-6.1%
内 Flooid	9	53 ⇒ 58	+49	+544.4%	+516.1%
アジア	163	150 ⇒ 185	+22	+13.5%	+13.0%
内 GGS	147	130 ⇒ 150	+3	+2.0%	+1.7%
内 Acrelec	16	20 ⇒ 35	+19	+118.8%	+116.2%
合 計	1,852	1,950 ⇒ 2,070	+218	+11.8%	+11.5%
内 GGS	1,392	1,403 ⇒ 1,487	+95	+6.8%	-3.3%
内 Sitrade	141	156 ⇒ 163	+22	+15.6%	+18.0%
内 Acrelec	299	281 ⇒ 300	+1	+0.3%	+0.0%
内 Flooid	19	110 ⇒ 120	+101	+531.6%	+511.9%

億円	通 期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	299	300	+1
米州	49 14%	45 16%	-4
欧州	233 83%	220 78%	-13
アジア	16 3%	35 9%	+19
営業利益	10	12	+2
のた人税調整後	3	4	+1



億円	通 期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	19	120	+101
米州	10 53%	62 52%	+52
欧州	9 47%	58 48%	+49
アジア	-	-	-
営業利益	0	25	+25
のた人税調整後	-5	2	+7

※2024年3月期 第4四半期よりFlooid社を連結決算に組入れ

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

29

「海外の地域別売上高」

欧米ではリテール市場向け、アジアでは金融市場向けの販売は年間を通じて増加することを見込む
アクレック社、フルイド社についても、上期と同様の市場環境が続き、販売は増加することを見込む

参考資料

2025年3月期 中間期 実績 損益計算書・包括利益計算書



億円	中間期				増減
	2024年3月期	売上高比率	2025年3月期	売上高比率	
売上高	1,578	100.0%	1,850	100.0%	+272
売上原価	887	56.2%	1,066	57.6%	+179
販売費及び一般管理費	523	33.1%	592	32.0%	+69
営業利益	167	10.6%	191	10.3%	+24
営業外収益	7	0.4%	6	0.3%	-1
営業外費用	21	1.3%	53	2.9%	+32
経常利益	154	9.8%	143	7.7%	-11
特別利益	2	0.1%	0	0.0%	-2
特別損失	14	0.9%	7	0.4%	-7
税金等調整前中間純利益	141	8.9%	136	7.4%	-5
法人税等	55	3.5%	62	3.4%	+7
中間純利益	86	5.4%	74	4.0%	-12
親会社株主に帰属する中間純利益	83	5.3%	73	3.9%	-10

中間純利益	86	5.4%	74	4.0%	-12
その他有価証券評価差額金	6		-3		-9
為替換算調整勘定	125		-45		-170
退職給付に係る調整額	-4		-11		-7
その他の包括利益合計	128	8.1%	-60	-3.2%	-188
包括利益	214	13.6%	14	0.8%	-200

2025年3月期 中間期 実績 貸借対照表



億円				2024年3月末	2024年9月末	増 減	億円				2024年3月末	2024年9月末	増 減
	現預金・有価証券			352	325	-27		買掛債務			275	225	-50
	売掛債権			900	767	-133		短期借入金			439	267	-172
	棚卸し資産			1,110	1,054	-56		その他			896	656	-240
	その他			72	54	-18		流動負債合計			1,610	1,148	-462
	流動資産合計			2,434	2,200	-234		長期借入金			370	359	-11
	有形固定資産			461	451	-10		その他			402	543	+141
	顧客関係資産			268	238	-30		固定負債合計			772	902	+130
	のれん			841	766	-75		負債合計			2,383	2,050	-333
	その他			81	76	-5		資本金			128	128	0
	無形固定資産			1,190	1,080	-110		利益剰余金			1,670	1,697	+27
	投資その他の資産			583	574	-9		その他			489	431	-58
	固定資産合計			2,236	2,106	-130		純資産合計			2,287	2,256	-31
	資産合計			4,670	4,306	-364		負債純資産合計			4,670	4,306	-364

2025年3月期 中間期 実績 キャッシュ・フロー計算書

GLORY

(億円)	中間期		増 減
	2024年3月期	2025年3月期	
営業活動によるキャッシュフロー	-13	80	+93
投資活動によるキャッシュフロー	-29	-41	-12
財務活動によるキャッシュフロー	-82	-77	+5
現金及び現金同等物の増減額	-88	-27	+61
フリーキャッシュフロー	-42	39	+81

2025年3月期 中間期 実績 設備投資他



億円	中間期		前年同期比	四半期毎の推移
	2024年3月期	2025年3月期		
設備投資額	56	60	+4 +7.1%	30 28 48 33 27 FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q) FY24 (1Q) FY24 (2Q)
減価償却費	63	69	+6 +9.5%	33 35 35 35 34 FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q) FY24 (1Q) FY24 (2Q)
研究開発費	89	93	+4 +4.5%	50 49 57 45 48 FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q) FY24 (1Q) FY24 (2Q)

2025年3月期 中間期 実績 セグメント別売上高・営業利益の推移

GLORY

上段：売上高
下段：営業利益

億円	第1四半期		第2四半期		中間期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
海外市場	389	457	410	511	799	968	+169
	2	-18	3	19	5	1	-4
金融市場	94	127	206	142	300	269	-31
	12	28	71	23	83	51	-32
流通・交通 市場	134	239	180	177	314	416	+102
	7	64	28	23	35	87	+52
遊技市場	67	85	69	78	136	163	+27
	20	30	26	24	46	54	+8
その他	10	16	16	17	26	33	+7
	-2	-2	-1	-1	-3	-3	0
合 計	696	927	882	923	1,578	1,850	+272
	41	105	126	86	167	191	+24

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

35

2025年3月期 中間期 実績 セグメント別売上高・営業利益 達成率

GLORY

億円	売上高			営業利益		
	中間期		達成率	中間期		達成率
	予想(1Q時修正)	実績		予想(1Q時修正)	実績	
海外市場	930	968	104.1%	0	1	-
金融市場	270	269	99.6%	43	51	118.6%
流通・交通 市場	415	416	100.2%	80	87	108.8%
遊技市場	150	163	108.7%	45	54	120.0%
その他	35	33	94.3%	-3	-2	-
合 計	1,800	1,850	102.8%	165	191	115.8%

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

36

2025年3月期 中間期 実績 海外地域別売上高 達成率

GLORY

億円	中間期		達成率
	予想(1Q時修正)	実績	
米州	435	444	102.1%
内 GGS	379	395	104.2%
内 Acrelec	28	22	78.6%
内 Flooid	28	27	96.4%
欧州	420	434	103.3%
内 GGS	215	221	102.8%
内 Sitrade	76	80	105.3%
内 Acrelec	102	111	108.8%
内 Flooid	27	22	81.5%
アジア	75	88	117.3%
内 GGS	65	71	109.2%
内 Acrelec	10	17	170.0%
合計	930	968	104.1%
内 GGS	659	687	104.2%
内 Sitrade	76	80	105.3%
内 Acrelec	140	151	107.9%
内 Flooid	55	50	90.9%

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

37

2025年3月期 下半期 業績予想

セグメント別売上高・営業利益

GLORY

上段：売上高
下段：営業利益

億円	上半期		下半期		通 期		前期比
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2024年3月期	2025年3月期予想	
海外市場	799 5	968 1	1,053 61	1,102 79	1,852 66	2,070 80	+218 +14
金融市場	300 83	269 51	484 158	251 11	784 241	520 62	-264 -179
流通・交通 市場	314 35	416 87	433 70	269 1	747 105	685 88	-62 -17
遊技市場	136 46	163 54	146 54	117 21	282 100	280 75	-2 -25
その他	26 -3	33 -2	32 1	32 -3	58 -2	65 -5	+7 -3
合 計	1,578 167	1,850 191	2,146 345	1,770 109	3,724 512	3,620 300	-104 -212

- 海外市場 欧米主要国の大手リテーラー、F&B等の設備投資意欲は高く、リテール市場の拡大を見込む
- 金融市場 セルフ化ニーズに対応したソリューション提案の推進と共に主要製品の更新需要の獲得を目指す
- 流通・交通市場 セルフ化ニーズが継続することを予想しており、セルフ型製品の販売拡大を目指す
- 遊技市場 スマート遊技機関連製品の需要継続を予想しており、カードシステムの販売拡大を目指す

2025年3月期 下半期 業績予想 海外地域別売上高

GLORY

億円	上半期		下半期		通 期		
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2024年3月期	2025年3月期予想	前期比
米州	379	444	515	556	894	1,000	+106
内 GGS	358	395	476	498	834	893	+59
内 Acrelec	20	22	29	23	49	45	-4
内 Flooid	-	27	10	35	10	62	+52
欧州	346	434	448	451	794	885	+91
内 GGS	180	221	231	223	411	444	+33
内 Sitrade	67	80	74	83	141	163	+22
内 Acrelec	99	111	134	109	233	220	-13
内 Flooid	-	22	9	36	9	58	+49
アジア	74	88	89	97	163	185	+22
内 GGS	67	71	80	79	147	150	+3
内 Acrelec	7	17	9	18	16	35	+19
合 計	799	968	1,053	1,102	1,852	2,070	+218
内 GGS	606	687	786	800	1,392	1,487	+95
内 Sitrade	67	80	74	83	141	163	+22
内 Acrelec	126	151	173	149	299	300	+1
内 Flooid	-	50	19	70	19	120	+101

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

39

2025年3月期 通期 業績予想 設備投資など



億円	通 期		前期比	半期毎の推移			
	2024年3月期	2025年3月期予想					
設備投資額	132	120	-12 -9.1%	56 FY23 1H	76 FY23 2H	60 FY24 1H	60 FY24 2H (予)
減価償却費	133	135	+2 +1.5%	63 FY23 1H	70 FY23 2H	70 FY24 1H	65 FY24 2H (予)
研究開発費	195	180	-15 -7.7%	89 FY23 1H	106 FY23 2H	94 FY24 1H	86 FY24 2H (予)
配当 (円)	106	108	+2 円	40 FY23 1H	66 FY23 2H	54 FY24 1H	54 FY24 2H (予)

戦略投資（2020年～2024年）

GLORY

海外市場		リテール		飲食	金融
買収/提携	企業名	Flood Topco Limited	Revolution Retail Systems, LLC	Acrelec Group S.A.S	Unified Financial Limited (OneBanx)
	金額	310億円	210億円	242億円	非公開
時期		2024年1月	2021年11月	2020年4月	2023年6月（子会社化）
本社		英国	米国	フランス	英国
ソリューション		・小売店向けユニファイド・コマース・プラットフォームの提供	・米国バックオフィス向け貨幣処理機の開発・販売・サービス	・店舗運営プラットフォーム ・ノンキャッシュ決済 ・ユーザーエクスペリエンス	・キャッシュ・アクセスポイントの拡大 ・シェアードバンキング・プラットフォームの提供
シナジー		・リカーリングビジネスの拡大 ・店舗自動化ソリューションの強化、拡大	・両社の販路を活用した製品・サービスのクロスセル ・米国 顧客基盤のすそ野拡大 2024年4月 GGS Inc.と経営統合	・グローバルF&Bへのレジフリ銭機の販売拡大 ・グローリー保有技術との融合による新たなサービスの創造	・新たな金融サービスの創出 ・入金金機の販売拡大

国内市場		リテール	飲食	ヘルスケア市場	全市場	
買収/提携	企業名	TOUCH TO GO	ショーケース・ギグ 2024年10月追加出資により子会社化	アドインテ	エコナビスタ	タイムリープ
	金額	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
時期		2021年10月	2024年10月	2020年5月	2022年8月	2024年7月
本社		東京都	東京都	京都府	東京都	東京都
ソリューション		・無人決済システムソリューションの提供	・集客・創客につながる顧客・店舗分析・施策の提案 ・データ活用によるサービス提供	・小売店および飲食店の来店客分析を通じて集客力の向上 ・Webターゲティング広告	「ライフリズムナビ+Dr.」にグローリーの画像認識技術を組み合わせたソリューションの提供	「RURA」を使った遠隔接客や、接客画面を通して機器の遠隔操作を行うサービスの提供
シナジー		・グローリー製品・サービスとの連携による決済の効率化 ・行動・購買データを活用した新たなマーケティングサービスの創出	・集客・創客につながる顧客・店舗分析・施策の提案 ・グローリーとSCG社のデータ活用によるサービス提供	・店舗におけるCS改善や業務フロー改善のための分析・施策の提案 ・当社製品データとアドインテのデータ活用によるサービス提供	・両社の顧客基盤を活用したクロスセルによる市場シェアの拡大 ・両社の技術とデータの相互利用による新たなソリューション開発	・顧客の経営課題に応える遠隔接客サービスの提供 ・「RURA」を利用したグローリーの各種セルフ型製品のIoT化推進

用語集

GLORY

セグメント	用語	解説	型式等	掲載ページ
海外市場	TCR	金融機関窓口向けの紙幣入出金機	GLR-100、200 RGB-100、200	P.7、P.18
	CIシリーズ	スーパーマーケット等向け紙幣硬貨入出金機 顧客の支払いに対応するタイプと、店員がバックヤードで売上金を入金する2種類の タイプがある	CI-10、CI-100 CI-10X、CI-100X	P.7、P.18、P.19、 P.20
	セルフサービスKIOSK	飲食店向けの情報処理端末 メニュー表示と注文・決済に対応	K22、K27、C27	P.8、P.21
金融市場	UCP	「ユニファイド・コマース・プラットフォーム」の略語 複数の販売チャネルを一つのプラットフォームに統合し、消費者にスムーズな購入体 験を提供する環境の総称		P.9、P.10、P.21
	WAVEシリーズ	銀行店内の現金入出金を一括管理する現金処理機 専任の出納担当者を必要とせず入出金処理が可能となったことから オープン出納システムの呼称がつく	WAVE Pro WAVE A	P.23
	オートキャシャー	国内金融機関窓口向けの紙幣・硬貨入出金機	RB-700	
流通・交通市場	レジつり銭機	スーパーや飲食店等でつり銭を自動で払い出す製品	RT/RAD-N300	
遊技市場	売上金入金機	スーパーやショッピングセンター等のバックヤードに設置し、売上金を入金する製品	DSN、DSS	
	スマート遊技機	玉やメダルが機外に投出されない遊技台。出玉はカウンターに表示される		P.24、P.28